

たかお治久 はる ひさ 後援会 会報 NO. 8

■発行日／平成24年5月 ■編集発行／鷹尾治久後援会 ■後援会連絡所／カネカ労組高砂支部内

<高砂市の中期財政状況>

貯金全額（16億円）を取り崩しても 5年後は9億円強の赤字

こうならない為に今、何を選択すべきか？以下の事業群から皆様は何を優先させるべきとお考えでしょうか？ また他に軌道修正すべき事はないでしょうか？

(単位:百万円)

	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
歳入見込	23,430	22,587	22,572	22,137	21,343	21,539
歳出見込	23,016	22,188	22,177	22,249	22,283	21,956
単年度収支	414	399	395	▲112	▲940	▲417
土地開発公社再建影響額				77	▲354	▲396
累積	414	813	1,208	1,173	▲121	▲934

(解説) 高砂市が抱える懸案の土地開発公社再建は今後必須の解決課題であり、これを実施した場合、5年後の累計収支は約9億円強の赤字となります。しかもこれは、実際には、上記では歳入に見込む16億円の高砂市の貯金全額を支出することを前提にしており、貯金を使用しない場合5年後は約26億円の赤字となります。

*上記に考慮されている平成24年度～平成28年度の1000万円以上の事業は以下の通り。

庁舎建設事業※ 庁舎等改修事業 ごみ処理広域化事業※ 落石防止網設置等事業※ 保育所建設事業(米田西保育園・阿弥陀保育園・高砂幼稚園) 学童保育所整備事業 (仮称)福祉交流センター建設事業 し尿処理施設中央監視装置整備事業 し尿処理施設運営管理事業 斎場火葬炉電装改修工事 斎場屋上防水改修事業 沖浜平津線街路整備事業 高砂102号線道路改良・歩道新設事業 曾根31号線道路整備事業 米田88号線道路整備事業 塩市・宝中前準幹線歩道新設事業 木曾町南北道路新設事業 高須松村線街路整備事業 橋りょう長寿命化事業※ 大木曾水路整備事業 間の川整備事業※ 鹿島川・松村川整備事業※ 北脇地区ため池再編整備事業 JR曾根駅周辺整備事業※ 小松原4丁目まちづくり推進事業※ 市営住宅整備事業※ 救急救助車両整備事業※ 高砂分署移転新築事業 消防緊急通信指令施設更新事業 消防本部空調設備改修事業 消防水利整備事業※ 各幼稚園整備事業(伊保幼稚園) 荒井幼稚園改築事業(解体) 北浜幼稚園改築事業 米田幼稚園耐震補強事業 小・中学校耐震補強事業(米田西小・曾根小・北浜小・高砂中) 図書館建設事業 生石宿泊センター改修事業 議会放送・放映システム改修事業

※=平成28年度以降も継続する事業

尚、ここには小・中学校大規模改造事業、中学校給食事業はふくまれておりません

<平成24年3月一般質問：要約版>

『一般質問』とは、議員が本会議場で定められた時間（高砂市議会の場合40分間）を使い、自分の疑問を市長以下行政当局に問うことをいいます。

今回、私は3項目の質問を行いました

*当局回答は○中番号で連動

1. 「図書館は欲しい、されど、、、」

- ①何故今、この高砂市に図書館が必要なのか？
- ②図書館の使命をどう考えるか？
- ③その使命を達成するために広域（他市施設活用）の視点はもてないのか？



当局答弁（要約）：

- ① H13年に図書館建設を断念。その後アンケート(H21年7月頃)で現図書館に満足していない、充実を求める声が多く、新図書館を望む声が根強いと再認識。
- ② 単に図書提供だけでなく生涯に渡る学習活動の積極的支援、生活の質の向上につながる事が重要。
- ③ 協定で近隣市との相互利用は可能になっている。高砂市の地域性を生かした資料などを収蔵する等して生涯学習、(高砂市独自の)文化の創造に寄与できる施設として新図書館の計画をすすめていきたい。

私見

現在の高砂市の財政状況と今後数十年先までの財政予想、人生観をも変える昨年の東日本大震災と台風12号被害による自然災害の体験、これらを踏まえ今後の施策を考えた場合、従来からの市民の声「図書館が欲しい」をそのままの声と受けとめていいのでしょうか？

私は、現在の高砂市立図書館について、リニューアルの必要性を感じています。本当に新規建設は必要か？また、限られた財政の中では市民生活の安全確保を目指し、いずれ起こると予想されている南海地震に備えて、市民生活のセンター機能をもつ市庁舎の耐震化対応を優先せざるを得ないのではないかと、との視点から質問しました。

私は、本が大好きです。加古川の図書館には頻繁に通っています。図書館運営の成功の鍵は運営の人材です。人にお金をかけ続けることがこの高砂市にできるのか？内容を充実させるためには敢えて、新しい箱物をつくらず、浮いたコストで既存の市有財産(例えば、生石宿泊センター等)をリニューアルし充実した中身を入れるべきではないでしょうか？

2. 地元事業者への発注促進を



市は産業振興に率先して取り組む意図で、他市以上に元受業者に対し地元事業者採用を促す策を明確に意思表示し、入札仕様に施すべきではないのでしょうか？

当局答弁（要約）：

市内業者の受注機会を増やすことは重要と考えている。官製談合の起き難い仕組みにし、一定の請負割合を定め市内業者との下請け契約を条件に入札を行ってきた。今後も入札契約制度等検討委員会にてどういう工事が実施可能か、更に検討していきたい。

私見

高砂市に根付いた産業群は様々な人と技術を高砂市にもたらしましたが、現代はあらゆる事業者が非常に厳しい競争社会に生きています。高砂市の活気を取り戻す為には地元の事業者が元気であることは重要な要素であり、地元での公共事業には強い意思をもって地元事業者を活用するというリーダーシップが必要ではないか、と最後に提言致しました。

3. 施策に数値目標を定めるべきでは？

施策に数値目標を定め、最終的に公表する形をとるべきでは？



当局答弁（要約）：

H23年4月からマネジメント制度を導入し、上司と目標を確認の上、税・料の目標徴収率、定員適正化の各年度の職員数など可能なものは公表している。また、今後も公表をしていきたい。

私見

目標の曖昧化は即ち仕事の曖昧化となり成果も曖昧になりがちです。全ての仕事を数値目標化してやるべきと言っているのではなく、可能な限りそうするべきではないか、との考えからです。当局の答弁は、現在もやれることはやっている、との認識でしたが、まだまだ少ないというのが私の現状認識で、かみ合わない形となりました。

<高砂市議会 トピックス>

1. 高砂市の治水対策

法華山谷川・間の川については今後5年間で兵庫県と加古川市・高砂市が150億円をかけた治水対策を実施すべく(案)を出しています。鹿島・松村川については平成24年度に河川整備計画を作成し、進めていくこととしています。

2. 中学校給食について

平成24年度に庁内検討委員会を立ち上げ、平成27年度以降の実現の可否について検討を行っていくこととしています。

3. 高砂小学校・中学校の今後について

生徒の減少傾向にある両校に関しては、あるべき姿について平成24年度に委員会を立ち上げ、検討していく予定です。

4. 東日本大震災により発生した瓦礫受け入れについて

高砂市美化センター焼却施設での8t~12t/日(年間1800t)の受け入れを検討中ではありますが、受入基準(長さ50cm以下、厚さ20cm以下)に合致していることや、焼却後の残渣は大阪湾広域臨海環境整備センター(フェニックス)の受入基準に適合すること等、まだ条件面で詰めきれていないことがある。

<私の主張>

平成24年度一般会計予算の採決に際し、私は採決には参加せず議場を退席致しました。理由(詳細は最後に記載)は、その予算に計上されている図書館建設につき、①“あつて欲しい物”ではあるものの、“なければならぬ物”ではない ②「早急に建替え、補強等方針を決定する」(抜粋:高砂市耐震改修促進計画)と記載のある耐震化に問題を抱える市役所庁舎の建設、補強をスケジュール化すべきとの考えに加え、今後高砂市が抱える課題を解決に向け取り組もうとした場合の財政状況を考えると、新設よりも既存施設の有効利用により中味の充実した運営と広域の視点での図書館利用等こそ、進むべき方向と考えたからです。

尚、反対票を投じず、退席したのは、図書館設計予算(約13百万円)に反対する場合も、それを含む約300億円の一般会計が一議案になり、その議案への賛否を表明しなければなりません。私の意見が「どうしても賛成しかねる1件と概ね賛成の多数」を表明致したく、退席を選択致しました。今般のことを通じ、私は会派(民主クラブ)を離脱し、当面は1人で活動を行うことを決意致しました。今後は、益々皆様の声が私の支えとなり、指針となります。

今後ともご支援の程、宜しくお願い致します。

日々の活動をブログ『たかお治久の活動報告』に掲載しています。是非ご覧ください。

鷹尾治久後援会 会長:林 靖二 副会長:大森 幹治 副会長:北野 光昭 幹事:畑中 隆禎 会計:谷村 英雄 監査:奈良 征岳

日常お困りの市政相談は、お気軽にお電話ください。連絡所/TEL.079-445-2395 (カネカ労働組合高砂支部内)